

言語技術の効果的な活用・言語活動の充実を図った
音楽科学習指導案

府中市立府中中学校

- 1 学年・題材名 第1学年 日本の音楽に親しもう
- 2 本時の目標 箏について学んだことをもとに、小学4年生に分かりやすく説明し、日本の音楽に興味を持ってもらえるような紹介をする。
曲想を感じ取りながら、「さくらさくら」を演奏する。
- 3 本時の工夫点 小学4年生に対して、言葉・話し方・内容を工夫し、分かりやすく説明する活動を通し、箏に対する理解を深めさせる。
「さくらさくら」の曲想を感じ取りながら、グループで難しい部分を出し合い、奏法を工夫させ、演奏能力を育てる。

4 学習の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
<p>1 本時の課題を知る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">日本の楽器（箏）を小学4年生に分かりやすく紹介する。 曲想を感じ取って「さくらさくら」の演奏しよう！</div> <p>2 発表の準備をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班に分かれて、発表の確認・準備をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">・相手に分かりやすく伝える発表をグループで工夫する。</div> <p>・「さくらさくら」の演奏を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">・箏の奏法で難しい部分をグループで出し合い、演奏につなげる。</div> <p>3 小学生と交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箏の紹介をする。 ・箏の演奏をする。 ・感想を聞く。 <p>4 まとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに箏の演奏をしての気づきや感想を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に学習した曲や箏の奏法について想起させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">・小学4年生に「箏」の構造や魅力が伝わる発表を工夫させる。 ・班での活動を仕組む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">・班で発表を聞き合い、他者にとって分かりやすい説明になっているかを確認し工夫させる。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・演奏につまずいている生徒には演奏できる部分を自信をもって取り組めるような言葉かけをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">・個人で振り返り、意見を出す。 ・互いの意見を受け入れ、個の活動に活かしていく。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生が日本の楽器や音楽に興味をわく紹介をしてほしいと伝える。 ・失敗しても、励まし合うような言葉かけがあれば、評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・記述につまずいている生徒には演奏で工夫した部分や難しかった部分を想起させる。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想を感じ取り、演奏している。 （行動観察） （ワークシート） <ul style="list-style-type: none"> ・箏の演奏を通しての感想を書いている。 （ワークシート）